



鹽竈十福

発行所 〒985-1810 塩竈市一森山一番一号
 志波彦神社 社務所
 鹽竈神社
 電話 〇二二-三六七-一六一(代)
 FAX 〇二二-三六五-五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>



石鳥居一基、重要文化財
 寛文三年(一六六三) 造立、
 柱径約六〇cm、
 柱間約五m、高さ約六m
 銘文
 鹽竈宮大明神 奉創建石筆表一基
 寛文三年癸卯七月十日 松平亀千代
 (仙台藩四代藩主綱村公幼名)



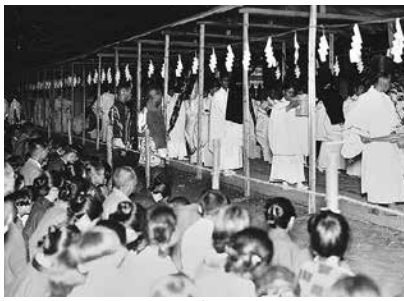
鹽竈神社唐門外に目葉の木がある。平成十九年六月に台湾の李登輝元総統が植樹した。李氏は京都帝国大学農学部に学び、学徒出陣。自らを「二十二歳まで日本人だった」と回顧し、日本の精神や文化を深く理解する人であった。特に、松尾芭蕉に傾倒し念願かなって奥の細道を訪ねる旅の途中、鹽竈様に参拝された折の記念植樹である。令和二年七月李登輝逝去の報道直後、この木の根元に花束を供える姿があった。東北大学の台湾人留学生と日本の学生たちが、李氏を追悼する場として来たという。互いに危機の時にこそ信頼し合える日台関係を望んでいた李氏の考えを青年たちは受継いで行くとの決意を聞いた。東日本大震災時、台湾からの支援金は世界最高額となる。日本では台湾南部地震の時、台湾への支援の輪が広がった。中国が台湾パイナップルを突如禁輸とした折、台湾パイナップルを買って応援しようとの声が巻き起こったことや、同じく中国の妨害によってワクチン不足が露呈した台湾へ日本からワクチンが空輸されたのは、昨年のことだった。先月、國學院大學から当社へ来た神職志望の実習生の中に台湾の青年がいた。日本に来てから八年たつというが難解な神道用語が使いきれず発言内容が伝わらない場面があった。しかし、日本人実習生がその都度発言の意図をかみ砕き理解を促す。かくして、相互理解が深まる様子は実にうれしいものだった。李氏の遺志を受継ごうとする青年たちや当社で実習した日台の学生の活躍により両国の友情が更に強固なものとなることを願っている。

志波彦神社遷座記念祭 並びに氏子崇敬会秋季大祭

九月二十九日、志波彦神社遷座記念祭並びに氏子崇敬会秋季大祭が斎行されました。

志波彦神社は「延喜式」神名帳に陸奥国百座のうちの名神大社として記された古社で、かつては岩切村(仙台市宮城野区岩切)の冠川のほとりに鎮座し、地域はもとより朝廷からも篤い崇敬を受けていました。

明治四年に国幣中社に列格、明治七年に鹽竈神社別宮に遷祀され、それから六十四年後の昭和十三年に神職・氏子崇敬者悲願であった御社殿が、国費により造営されました。



昭和十三年の遷座祭

近代神社建築の粋を集めて造営された御社殿は、厳格な趣に満ち、昭和三十八年に塩竈市の文化財に指定されています。

- 志波彦神社
鹽竈神社総代
- 佐藤仁一郎(重任)
 - 和田 忠(重任)
 - 志賀 重信(重任)
 - 水野 暢大(重任)
 - 鈴木 健史(重任)
 - 桑原 茂(重任)
 - 志賀 直哉(重任)
 - 津田 武彦(重任)
 - 菅原 宏和(重任)
 - 小泉 幸彌(重任)

総代就任奉告祭

当社総代の任期が満了したことに伴い、新たに総代が選任されました。

七月二十八日に就任奉告祭が斎行されました。

抜穂祭

九月二十四日、御神田において抜穂祭が斎行されました。

去る五月七日の御田植祭で植えられた、ひとめぼれの苗は、関係者の御尽力により順調に生育しました。収穫された稲は、十一月二十三日に斎行されます新嘗祭に御供えされます。



- 勝又 實(重任)
 - 下山 雄司(重任)
 - 土井 儀憲(重任)
 - 阿部 善久(重任)
 - 横田 善光(重任)
 - 内形 繁夫(重任)
- (敬称略)



鹽竈神社防災施設整備事業起工奉告祭

鹽竈神社の防災施設は、長年の風雪等により機能劣化が進んだ為、初期消火設備や延焼防止設備などの各種消火設備及び防火警報設備の更新・増設を行うこととなりました。

八月二十九日に整備事業起工奉告祭を斎行、市長をはじめ、県教育庁文化財課、市教育委員会、市文化財保護審議委員、役員、総代が参列しました。
令和四年度から三箇年の国及び塩竈市補助事業として実施します。

一森会総会

八月二十五日、神職養成所卒業生の同窓会である一森会(菅原正明会長)の総会が、三年ぶりに開催されました。

総会では役員改選が行われ、会長に菅原正明氏(岩手県・第三十二期卒)、副会長に渡邊市也氏(山形県・第三十九期卒)・富田好弘氏(第四十一期卒)・郡山宗典氏(第三十五期卒)が就任しました。

総会に先立ち斎行された物故会員慰霊祭では、神社界に多大な足跡を残した諸先輩の御霊に追悼の誠を捧げました。



博物館だより

博物館実習実施

九月五日から九日まで、学芸員資格取得にかかわる博物館実習を実施しました。今年度は東北学院大学より二名、東北生活文化大学より三名が参加しました。博物館における様々な活動についての講義や各種資料の取扱い、記録、梱包作業などの実習を行いました。実習生は古文書や刀剣など実際の資料に向き合い作業に取り組んでいました。



資料出品のお知らせ

十月一日から十一月二十七日まで多賀城市の東北歴史博物館で開催される特別展「みちのくのサムライたち―東北武士の系譜―」に当館所蔵の「来国光」をはじめ伊達家歴代藩主奉納太刀や拵、鹽竈神社文書など十六点を出品します。
（お問い合わせ先）
■東北歴史博物館
多賀城市高崎 一―二十二―一〇二二（三六八）一〇六

國學院大學指定実習

九月五日から九日まで、國學院大學の学生を受け入れ、指定実習を実施しました。

当社は同大學の実習神社に指定されており、本年は神道文化学科四年生の岩井柁午君（千葉県）、三年生の岩崎慎一郎君（埼玉県）、尹駿皓君（台湾）の三名が実習に臨みました。祭式をはじめ禊、境内清掃、奉製作業、社頭での祈禱奉仕などに取り組んでいました。

「二万人のお宮奉仕」

境内清掃奉仕

九月二十一日、「二万人のお宮奉仕」（大阪市北区・塚田昌久代表）による境内清掃奉仕が実施されました。「二万人のお宮奉仕」は、『自然の恵みと繋がる命に感謝し、愛と喜びをもって和合し、奉仕の心を広げる』を理念とした団体で、全国各地の神社で清掃奉仕活動を行っています。



七五三詣の御案内

七五三は氏神様の御加護によって無事成長できたことを感謝すると共に、これからの生活を見守っていただく事をお願いする大切な人生儀礼です。

今年は今和二年生れ（三歳男女）、平成三十年生れ（五歳男子）、平成二十八年生れ（七歳女子）のお子様（何れも数え年）が該当します。

御祈禱を受けられたお子様には千歳飴ほか記念品を授与します。ご家族皆揃いでの参りをお待ちしております。



奉納御礼

曲木神社鈴緒

某氏



コーワ消毒液
ポンプ・詰替 各五百本
仙台市青葉区花京院
興和株式会社

北日本支店 殿



